

相模原市公共交通ニュース

第16号

令和5年(2023年)
3月



相模原市公共交通整備促進協議会は相模原市、市議会、自治会連合会、市内各種団体により構成され、昭和44年の設立以来、相模原市域の鉄道、バス交通等、公共交通の整備促進などを目的に鉄道、バス及びタクシー事業者への要望活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。



市内における鉄道、バスなどの公共交通の利用者は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しています。

人口減少や少子高齢化が進行する中、交通弱者などの移動手段を確保するため、公共交通の重要性はますます高まっています。

この機会に公共交通のメリットを知り、みんなで利用しましょう。



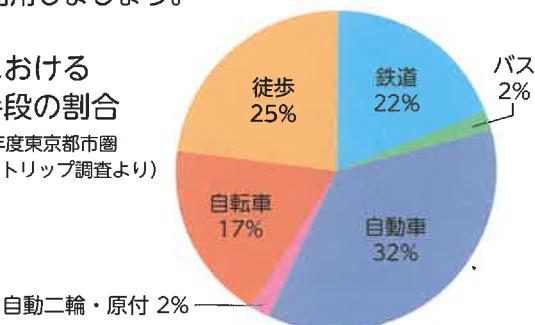
■本市の公共交通(バス・鉄道)利用者数の推移

| 年 度 | バス利用者数 | 駅乗降者数 |
|-------|---------|----------|
| 平成23年 | 80,766人 | 654,827人 |
| 平成28年 | 85,429人 | 680,703人 |
| 令和 3年 | 66,514人 | 541,254人 |

(1日平均利用者数)

■本市における移動手段の割合

(平成30年度東京都市圏
パーソントリップ調査より)



公共交通のメリット

安全で安心

バスの事故件数は、自家用自動車の約240分の1であることから、安全性が高い交通手段と言えます。

(警察庁交通局「令和3年中の交通事故の発生状況」より試算)



健康の増進

1時間自動車で移動する代わりに鉄道・バス・徒歩で移動すれば、消費カロリーが約1.5倍になるとという研究結果があります。

(日本体育協会スポーツ科学委員会
「日常生活動作によるエネルギー消費量」より試算)
※鉄道・バスで40分、徒歩で20分として算出



環境にやさしい

1人を1km運ぶのに排出されるCO₂は、電車は自家用乗用車の約7分の1、バスは自家用乗用車の約2分の1のため、環境にやさしい交通手段と言えます。

(国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」より試算)



渋滞の緩和

鉄道やバスへの利用転換が図られることにより、自動車利用者が減少し、駅周辺などの交通渋滞が緩和されます。



麻布大学大学祭へのコミュニティバス出展

3年ぶりに対面での開催となった『麻布大学大学祭(10/29、30開催)』に大野北地区コミュニティバスを展示しました。

会場では、バスの乗り方教室の開催やペーパークラフトの配布などで、来訪者へ相模原市のコミュニティバスをPRし、バスの利用促進を図るとともに、バスについての知識や親しみを深めていただきました。



夢の丘小学校の総合的な学習で「相模線」がテーマになりました！

児童たちに駅や電車、地域に愛着を持ってほしいという先生の熱い想いから、夢の丘小学校の3年生の「総合的な学習の時間」に、「相模線」が取り上げられました。

具体的な取組として、相模線の歴史などを調べ、学んだことや相模線に対する想いをポスターに描き、原当麻駅への掲示が行われました。地域からは、「元気が出る」「3年生からの感謝の気持ちや相模原の魅力が伝わった」「クイズ形式がよかったです」「素晴らしい取り組みだと思った」など、好意的な感想が多く寄せられました。

また、市職員が夢の丘小学校に訪問し、鉄道や相模線、児童たちのポスターについて、意見交換を行いました。

児童たちからは「感謝の気持ちちは伝わりましたか」「どうしたらもっと気持ちが伝わりますか」など、積極的に質問をいただきました。

児童たちには、「これからも地域に愛着を持ち、相模線にたくさん乗ってください」と伝えました。



児童と市職員の意見交換の様子

公共交通の運行継続を支援！～公共交通支援金の交付～

新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者は依然として減少傾向にあり、昨今の燃料価格高騰も加わるなか、交通事業者は厳しい経営状況の中においても、市民の皆様の日常生活を維持するため、感染対策を行いながら事業の継続に取り組んでいます。

相模原市では、こうした取り組みを支援するため、国の地方創生臨時交付金を活用して、市内を運行する交通事業者（路線バスとタクシー）へ公共交通支援金を交付しています。

- ◆令和3年度は、122件の事業者に支援を行いました。
- ◆令和4年度は、申請のあった事業者へ支援金を交付しています。



要望活動を実施しました！

相模原市公共交通整備促進協議会では、公共交通の利便性の向上に向けて、令和5年3月に各交通事業者へ要望活動を行いました！

《主な要望内容》

- | | |
|--|---|
| ・東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 横浜線の輸送力増強、相模線の複線化等 | ・京王電鉄株式会社 京王相模原線の輸送力増強、駅施設の整備等 |
| ・東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 中央本線の輸送力増強、駅施設の整備等 | ・神奈川中央交通株式会社 輸送計画の改善、バリアフリー施策の推進等 |
| ・小田急電鉄株式会社 小田急線の輸送力増強、多摩線の市内への延伸等 | ・県タクシー協会相模支部相模原地区会 利用者サービスの向上、バリアフリー施策の推進等 |

相模原市が目指す将来の交通のすがた

相模原市では、令和4年3月に「相模原市総合都市交通計画」を策定し、鉄道や路線バスなどの公共交通を中心の持続可能な交通体系の確立を目指しています。



都市交通の充実のために寄附あなたも市政に参加してみませんか！

相模原市では、都市交通施設の整備にかかる費用の一部にするため、都市交通施設整備基金への積立を行っており、市民の皆様や企業などからの寄附を受け付けております。詳しくは事務局までお問い合わせください。



相模線複線化等促進期成同盟会 公式SNS

相模線の沿線情報や同盟会の取組などを発信しています！

公式ホームページもチェック♪

GOGO相模線



公式Twitter

公式HP